

先祖返りする日本のODA

2016年11月28日(月)

@参議院会館

高橋清貴(恵泉女学園大学/JVC)

開発とは「物語」である

- 普遍的な「価値」を求めるプロセス(開発の権利)
- 発展・成長するストーリー
- 進化プロセスにおけるポジションとアイデンティティの確認

=>現代の「プロジェクトX」

「必要とされる日本人でありたい」

「僕たちにできることは必ずある」

「実感しよう「生きる」ということ」(協力隊ポスターから)

「私には夢がある」

「当たって、砕けるな！」(シニア協力隊ポスターから)

「開発」物語は機能しない

ODAで高度経済成長の夢をもう一度
 = 先進国のエリート(シンボリック・アナリスト)が途上国のエリートに
 「社会貢献という自己満足」と「国益」を結びつけて行う行為

日本

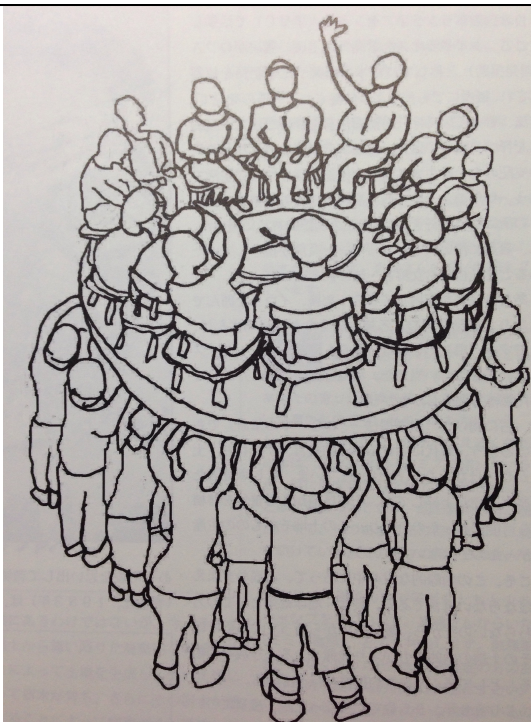
- 二極化した労働者階級。
- 自分の「発展」が見込めないのに
- アイデンティティの喪失
 (aである、bである、...→aでもない、bでもない、...)

途上国

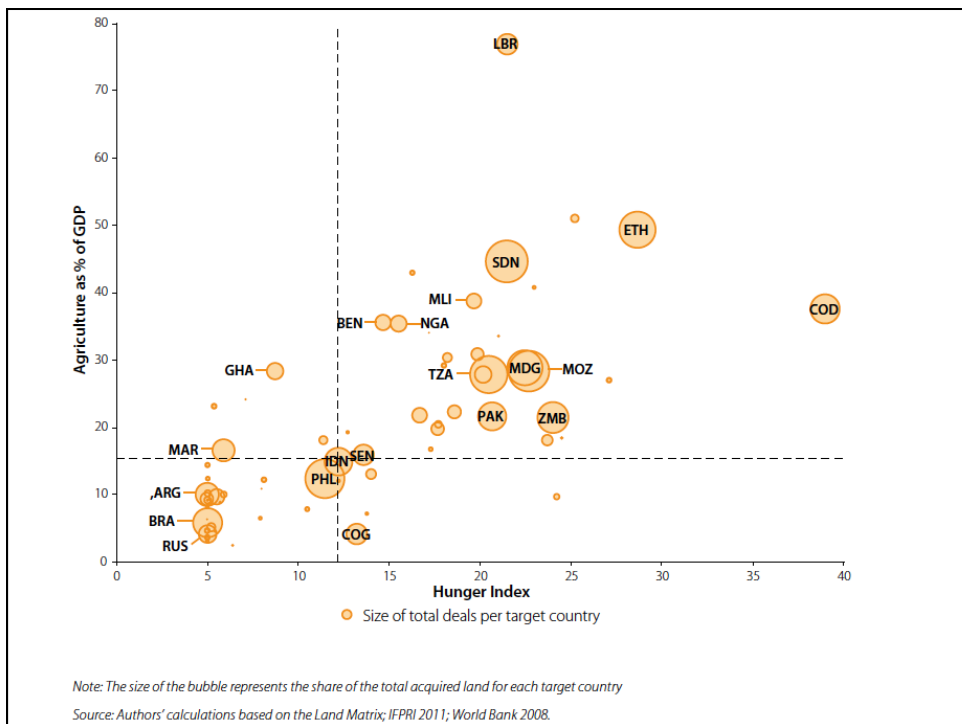
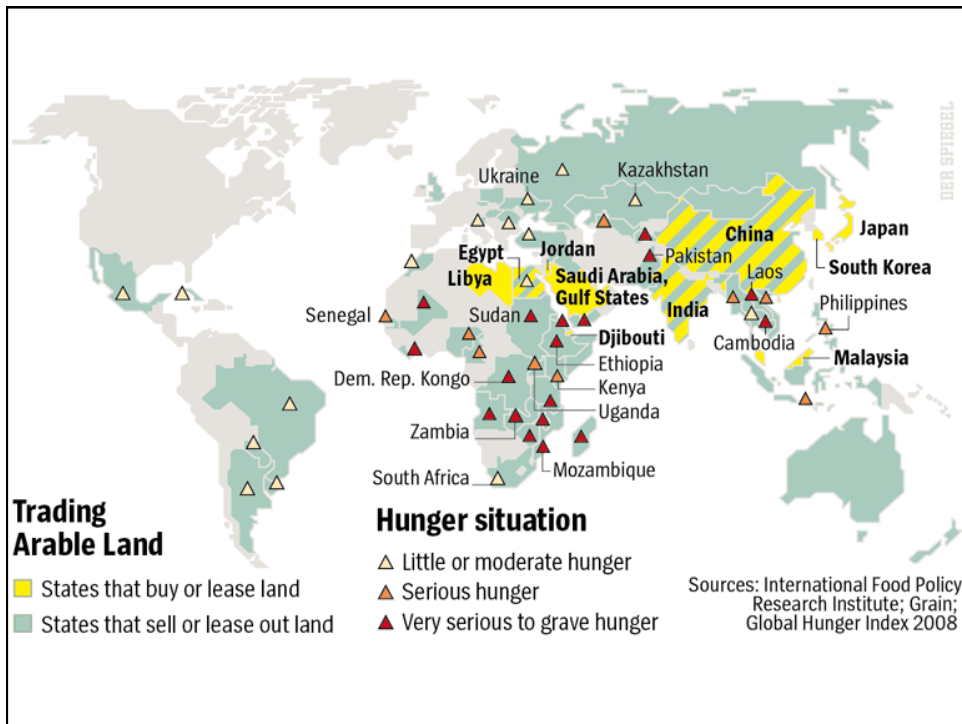
- ネポティズムによるエリート階級の固定化
- ガバナンスの悪化と閉塞感
- 生存基盤(土地、伝統知識、共同体)の破壊

=>「開発」は自分に関係のない言説

疎外された人たちに
 支えられた大きなお盆の上
 で、楽しく語り合う
 エリートの人々





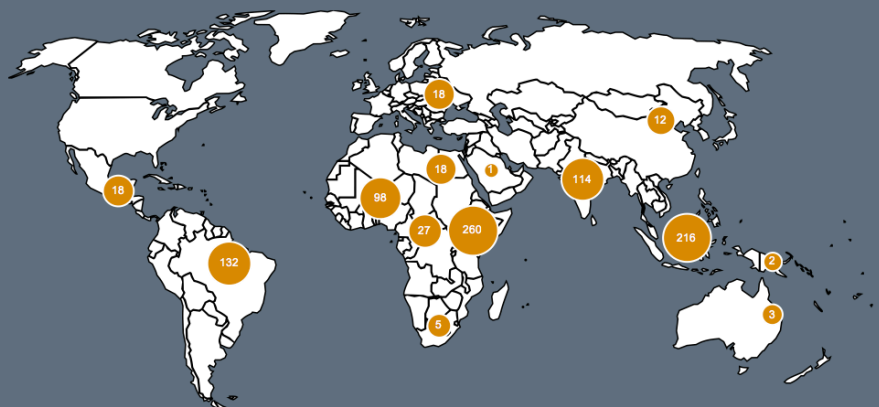


ひきこもりのODA

- 工業化 (Industrialization)による経済成長
→「ゼロ成長時代」を前提として新たな生き方を共に模索
- 地球規模課題に真剣に取り組む
→政策の一貫性
- 周縁化された人びとから学ぶ
→モザンビークの小農たちの知恵
- 多重人格化する日本のODA
Quality Infrastructure ≠ 質の高いインフラ(倫理的ジレンマ)
馴致できない他者とのつきあい方がわからない
=>「想像世界」への逃避

地域別に見た土地取引案件数

SUMMARY OF TOTAL LAND DEALS BY REGION



出展: Land Matrix (2012)

